

G7 シャルルボワ・サミット（結果）抜粋

（外務省ホームページ抜粋）

平成 30 年 6 月 9 日

2 成果文書

G7 での議論を踏まえ、「G7 シャルルボワ首脳コミュニケ（骨子／仮訳／英文）」を発出しました。また、併せて以下の宣言・附属文書も G7 として発出しました。

（7）「健全な海洋及び強じんな沿岸コミュニティのためのシャルルボワ・ブループリント
（骨子（PDF）／仮訳（PDF）／英文（PDF）」

3 G7 会合概要

キ 海洋（アウトリーチ）

12 か国の招待国（アルゼンチン（G20 議長国）、ジャマイカ、ハイチ（カリコム議長）、セネガル、南アフリカ、ルワンダ（AU 議長国）、ケニア、セーシェル、バングラデシュ、ベトナム、マーシャル諸島、ノルウェー）及び、招待国際機関として国連、IMF、世銀、OECD の 4 機関を交え、特に沿岸部の強靱性の構築、海洋の健全性の強化、海洋プラスチックごみ対策等について議論が行われました。

安倍総理から、防災は、日本の重要課題の一つであり、2011 年の東日本大震災等を通じて蓄積した知見を世界の人々のために役立てていくべく、2015 年の国連防災会議をホストし「仙台防災枠組」を推進していること、また、海洋ごみ対策については、とりわけプラスチックごみは、海洋の生態系に悪影響を与え得るほか、人の健康にも影響を及ぼしかねず、一カ国だけの努力、更には G7 や先進国だけの努力で解決できるものではなく、途上国を含む世界全体の課題として対処する必要があること、プラスチックごみの削減には、伊勢志摩サミットでも推進したリデュース・リユース・リサイクルの 3R や、廃棄物処理に関する能力の向上等の対策を国際的に広げていくことが不可欠であり、日本としても、そのための環境インフラの導入支援の協力を推進し、来年の G20 でもこれらの問題に取り組みたいことを述べました。

総理が述べた海洋ごみ対策は、途上国を含む世界全体の課題として対処する必要がある点について各国首脳から賛同の意が表された他、気候変動の影響やその適応策、強じん性向上のためのインフラ整備、資金アクセスの向上、科学的知識に基づく海洋資源管理、生物多様性の保護などについて活発な意見交換が行われました。また、何名かの首脳から、海洋での経済活動の基盤である海洋の安全保障の重要性についても指摘があり、安倍総理からもこれに支持を表明しました。

健全な海洋及び強靱な沿岸部コミュニティのためのシャルルボワ・ブループリント (附属文書・骨子)

- 海洋の健全性は、地球の経済的、社会的及び環境的福祉に不可欠。しかし、海洋は違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び漁業資源の過度の開発、プラスチックごみ等による海洋汚染並びに海水温の上昇・酸性化・海面上昇等、多くの課題に直面。
- 効果的で革新的な解決策のため、政府のあらゆるレベルを関与させると共に支援。関連するすべてのパートナーと協力して、政策ギャップ、ニーズおよびベスト・プラクティスを特定・評価。女性と若者のリーダーシップとエンパワーメントを支援。

1. より良い適応計画、緊急事態への備え及び回復の支援

沿岸部、特に小島嶼開発途上国(SIDS)における強靱で質の高いインフラを支援。沿岸コミュニティ保護のため、極端な気象現象等のリスクに関する効果的な早期警戒を行う能力の向上に取り組む。能力構築を通じ、早期警戒システムを支持。ジェンダーに配慮した計画策定戦略を作る。

2. 沿岸部の強靱性のための革新的な資金調達の支持

特に途上国において、沿岸部の強靱性構築のために利用可能な資金を増やす取組を奨励。脆弱な途上国及び支援を必要とする受益者に質の高い保険のカバーを拡大。

3. 沿岸区域の統合的管理能力向上のための G7 共同イニシアティブの立ち上げ

強固な観測ネットワークを支援し、既存の G7 の取組を拡大。地球の観測技術等を世界の最も貧しく、脆弱な地域において広く利用可能なものとする。

4. 海洋に関する科学及びデータの入手可能性及び共有の向上

世界的な観測及び追跡の取組を拡大。海洋の世界的なモニタリングの強化及び海洋科学情報へのアクセスの調整を通じ、データの入手可能性を大幅に向上。ジェンダーに配慮したデータ収集、分析、普及及び使用を推奨。

5. 違法・無報告・無規制(IUU)漁業その他の漁業資源の過度の開発の原動力への対応

IUU 漁船特定のため、主要国及び技術提供者とより強力な官民パートナーシップを構築。情報共有等のため、INTERPOL 及び地域漁業管理機関(RFMO)と協力して既存の地域的漁業ネットワークを強化。強制労働、有害な漁業補助金の禁止等にも取り組む。

6. 海洋の脆弱な区域及び資源を効果的に保全及び管理する戦略を支持

海洋保護区(MPA)の設定、漁業の持続可能な管理及び海洋空間計画プロセスの採用等、2020 年愛知目標の先を見据えた取組を推進すると共にこれらの目標に貢献。実効的かつ科学に基づく MPA 及び地域をベースとする手段の設定と実施の提唱。国家管轄権外区域の海洋生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する、国連海洋法条約(UNCLOS)の下での法的拘束力を有する効果的な国際文書作成の取組を促進。

7. 海洋プラスチック汚染と海洋ごみ

- 海洋プラスチック廃棄物等の生態系への脅威の緊急性等を認識。
- より資源効率的で持続可能なプラスチック管理への移行にコミット。
- 海洋ゴミのモニタリング手法の調和及びその影響に関する研究での連携作業を

推進。

- ハリファックスにおける G7 閣僚会合における本件作業の精微化を要請。

**健全な海洋及び強靱な沿岸部コミュニティのための
シャルルボワ・ブループリント
(仮訳)**

- 海洋の健全性は、地球の経済的、社会的及び環境的福祉に不可欠である。海洋は、地球規模の気候システムにおいて、また、コミュニティ、雇用と生計、食料安全保障、人間の健康、生物多様性、経済的繁栄及び生活様式を支える上で根本的な役割を果たす。
- しかし、海洋は多くの課題に直面している。違法・無報告・無規制漁業（IUU）及び漁業資源の過度の開発は、種全体及び食料安全保障を脅かす。プラスチックごみ等による海洋汚染は、既に悪化した海洋生態系が直面している脅威を更に悪化させている。G7 シャールボワ首脳コミュニケに示されているように、海水温の上昇、酸性化及び海面上昇は、極端な気象現象と併せ、世界中のコミュニティに影響を与えている。北極及び低地の沿岸部コミュニティ、特に小島嶼開発途上国（SIDS）のコミュニティは最も脆弱なコミュニティの一つである。
- 我々G7 首脳は、効果的で革新的な解決策を開発し、実施するため、政府のあらゆるレベルを関与させ、支援することの重要性を強調する。我々は、協力的パートナーシップを促進し、関連するすべてのパートナー、特に地方の、先住民の、僻地の沿岸の及び小島嶼のコミュニティ並びに民間部門、国際機関及び市民社会と協力して、政策ギャップ、ニーズ及びベスト・プラクティスを特定し、評価する。この道筋は、女性と若者のリーダーシップとエンパワメントを前向きな変化の担い手として支援する。
- 世界の気温上昇の海洋への直接的な影響を認識し、このブループリントにより、我々は、国内及び途上国を支援する我々のコミットメントにおいて女性及び女兒の広範な参画への公正な移行を確保しつつ、特に、イノベーションと経済成長を刺激しながら排出量を削減すること、適応能力を向上させること、強靱性を強化すること及び気候変動の影響に対する脆弱性を軽減することで、持続可能で気候に強靱な未来に向けた世界的な取組を追求する。¹

¹ アメリカは、健全な海洋及び強靱な沿岸部コミュニティを強く支持する。米国は既にパリ協定から脱退する意図を表明しており、このブループリントにおける気候に関する文言について留保する。

- これまでの G7 コミットメント及び持続可能な開発のための世界的な枠組みを定める 2030 アジェンダに沿って行動する必要性を認識しつつ、我々 G7 首脳は、以下にコミットする。

強靱な沿岸及び沿岸部コミュニティ

1. より良い適応計画、緊急事態への備え及び回復の支援

我々は、政策ギャップ、脆弱性並びにリスク及びニーズを特定・評価すると共に並びに教訓及び専門性を共有するため、複数のセクターを横断し提携して取り組む。我々は、適切な場合には、天然の及び物理的なインフラを再建するための基準、ベストプラクティス及び規定を含め、計画策定及びより良い再建を促進するための沿岸管理戦略の作成を奨励する。我々の取組は、沿岸部及び沿岸部コミュニティ、特に SIDS における、強靱で質の高いインフラを支援する。これには、再生可能エネルギー源を含むクリーンで強靱なエネルギー・システムの開発及び展開の促進を含む。我々は、適切な場合には、湿地、マングローブ林、藻場、サンゴ礁の保護及び回復等の自然に基づく解決策を提唱し、支援する。我々は、沿岸部コミュニティを保護するために、これらのコミュニティ、特に SIDS の極端な気象現象及びその他のジオ・ハザード関連のリスクに関する効果的な早期警戒を作成し、伝達する能力の向上に取り組む。この目的のため、我々は、後発発展途上国 (LDCs) 及び SIDS の能力を構築することを目指す気候リスク及び早期警戒システムイニシアティブ等の取組を通じ、早期警戒システムを支持する。我々は、経済成長、適応、持続可能な開発、生物多様性の保全及び持続可能な利用並びに防災を統合するジェンダーに配慮した計画策定戦略を作る。より包摂的かつ包括的なアプローチを確保するにあたり、我々は女性の防災及び復興のための意思決定への平等な参画を支持する。より明るい経済的将来を見据え、我々は沿岸部コミュニティにおいて、持続可能な観光業等の収益を生み出す活動を促進する。

2. 沿岸部の強靱性のための革新的な資金調達の支持

我々は、特に発展途上国において、沿岸部の強靱性を構築するために利用可能な資金を増やすための支援を更に動員し、各国及び国際的な、並びに公的部門及び民間部門のパートナーとの新たな革新的な資金調達手法及びツールを探索する。これらの革新的な資金調達手法とツールを探究するため、我々は政府、産業界、慈善活動家、機関投資家のための既存のプラットフォームを基礎とす

る。我々は、脆弱な途上国及び支援を必要としている受益者に質の高い保険によるカバーを拡大すると共に、生じつつあるリスクに対する新型の保険製品を奨励するため、InsuResilience グローバル・パートナーシップのような世界的及び地域的ファシリティ等を通じ、災害リスクに対する保険によるカバーを拡大することを探究する。我々は、保険業者が保険商品の範囲及び災害リスク管理と復興のための資金への女性のアクセスの双方を向上させるための調査、モニタリング及びジェンダー分析を歓迎する。

3. 沿岸区域の統合的管理のための能力を向上させるため、地球の観測技術及び関連するアプリケーションを導入する G7 の共同イニシアティブを立ち上げる。

強固な観測ネットワークを支援し、既存の G7 の取組を拡大する考えである。我々は、災害リスクの予防、不測の事態に備えた計画策定、国土に関する計画策定、インフラ及び建築設計、早期警戒システム及びリスク移転メカニズムを支援するため、地球の観測技術及び関連するアプリケーションの分野におけるイノベーションを活用し、それらを世界の最も貧しく、脆弱な地域において広く利用可能なものとする考えである。我々は、ハリファックスにおいて開催される来たるべき G7 閣僚会合において、この分野における新たな行動の提案に向けて作業することを要請する。

海洋に関する知見：科学及びデータ

4. 科学及びデータの入手可能性及び共有を向上させる

海洋科学、観測、及び海底測定の価値を認識し、我々は、世界的な観測及び追跡の取組を拡大する。海洋の世界的なモニタリングの強化及び海洋科学情報へのアクセスの調整を通じ、我々はデータの入手可能性を大幅に向上させる。我々は、女性と女兒がリスクや災害からどのように影響を受けるかの理解並びにいかに女性及び女兒が解決策の策定及びその実施に関与することができるかに関する理解のギャップを埋めるため、ジェンダーに配慮したデータの収集、分析、普及及び使用を推奨する。

持続可能な海洋及び漁業

5. 違法・無報告・無規制（IUU）漁業その他の漁業資源の過度の開発の原

動力への対応

我々は、IUU 漁業に従事する船舶及び IUU 漁業を支援する船舶を特定するための革新的なプラットフォームと技術を導入するために、主要国及び技術提供者とより強力な官民パートナーシップを構築するために、世界的な取組を行う。主要な取組の 1 つは、公海上で漁業を行う資格のある全ての船舶について、国際海事機関の固有の船舶識別制度を実施することである。更に、情報及びベスト・プラクティスを共有し、IUU 漁業を排除する新しいツールを開発するため、我々は INTERPOL 及び地域漁業管理機関（RFMO）と、それぞれの権限に従って協力し、既存の地域的漁業ネットワークを強化し、必要な分野に新たなネットワークを立ち上げる。我々のパートナーシップは、女性のための包摂的な計画策定及び実施、能力構築並びに情報へのアクセスの改善を通じて、海洋保全の戦略の策定に際し女性の活動、リーダーシップ及び参画を活用する。また、我々は、IUU 漁業を防止し、抑止し及び排除するための寄港国の措置に関する協定の、効果的な実施に関する能力構築支援等を通じた同協定の世界的な採択及び実施の促進、IUU 漁業にも関連する可能性のある漁業部門における強制労働又は人権を侵害・濫用するその他労働形態に対応するための調整された行動の促進、過剰漁獲及び IUU 漁業に寄与する有害な漁業補助金の禁止及び世界貿易機関（WTO）の効果的な規律を通じたこの問題への共同での対応、漁獲証明制度に関する国連食糧農業機関（FAO）の自発的ガイドラインへの支持並びに漁具の喪失及び放棄の防止のための漁具の設計と回収の革新の促進等により、持続可能な漁業が直面する多数のその他の問題に対処するために取り組む。我々はまた、可能な限り早期にフェーズ 1 船舶データを提供することにより、漁船、冷凍輸送船、補給船のグローバル・レコードの実施を支持する。

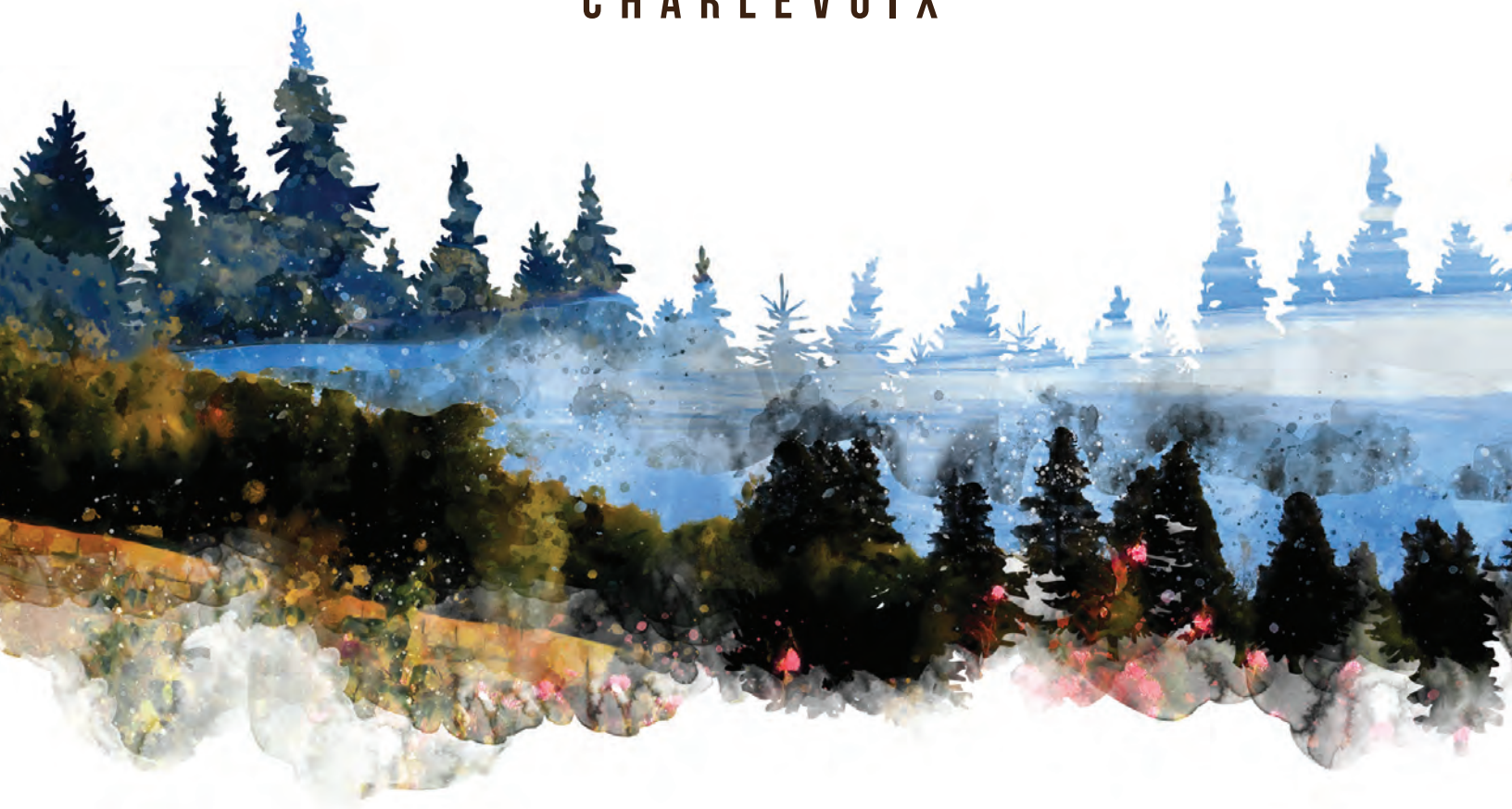
6. 我々の海洋の脆弱な区域及び資源を効果的に保全及び管理する戦略を支持

我々は、適切で実行可能な場合には海洋保護区（MPA）の設定、漁業の持続可能な管理及び海洋空間計画プロセスの採用等、現在の 2020 年愛知目標を超えた取組を進めると共にこれらの目標に貢献。我々は更に、公海も含め、関連する国際的枠組みと緊密に協力し、実効的かつ科学に基づく MPA 及び区域に基づく保全措置の設定と実施を提唱する。我々は国家管轄権外区域の海洋生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する、国連海洋法条約（UNCLOS）の下での法的拘束力を有する効果的なかつ普遍的な国際文書を国連総会決議 72/249 に従って、作成するための取組を承認する。

海洋プラスチック廃棄物と海洋ごみ

7. 我々は、海洋プラスチック廃棄物及び海洋ごみの生態系への脅威の緊急性並びに廃棄物の流れにおけるプラスチックの価値の喪失を認識する。我々はこれまでの G7 のコミットメントを基礎とし、陸上及び海上におけるプラスチック管理に関するライフサイクル・アプローチを取り、より資源効率的で持続可能なプラスチックの管理に移行することにコミットする。更に、我々は、海洋ごみのモニタリング手法の調和及びその影響に関する研究における連携作業の推進を、例えば国連環境計画（UNEP）と協力し促進する。

我々は、閣僚に対し、ハリファックスにおける会合においてこの作業を更に精緻化することを要請する。



CHARLEVOIX BLUEPRINT
FOR **HEALTHY OCEANS,
SEAS AND RESILIENT
COASTAL COMMUNITIES**

CHARLEVOIX BLUEPRINT FOR HEALTHY OCEANS, SEAS AND RESILIENT COASTAL COMMUNITIES

The health of our oceans and seas is critical to the economic, social and environmental well-being of the planet. Oceans and seas play a fundamental role in the global climate system and in supporting communities, jobs and livelihoods, food security, human health, biodiversity, economic prosperity and way of life.

Oceans and seas; however, are facing many challenges. Illegal, unreported and unregulated (IUU) fishing and overexploitation of fish stocks threaten entire species and food security. Marine pollution, including from plastic litter, is compounding the threats facing already degraded marine ecosystems. As set out in The Charlevoix G7 Summit Communique, ocean warming, acidification and sea-level rise, together with extreme weather events, are affecting communities globally. Arctic and low-lying coastal communities, particularly Small Island Developing States (SIDS), are among the most vulnerable.

We, the Leaders of the G7, underscore the importance of engaging and supporting all levels of government to develop and implement effective and innovative solutions. We will promote collaborative partnerships and work with all relevant partners, in particular local, Indigenous, remote coastal and small island communities, as well as with the private sector, international organizations and civil society to identify and assess policy gaps, needs and best practices. This path forward will support the leadership and empowerment of women and youth as agents of positive change.

Recognizing the direct impact of global temperature rise on oceans, with this Blueprint we are pursuing global efforts towards a sustainable and climate-resilient future, in particular reducing emissions while stimulating innovation and economic growth, enhancing adaptive capacity, strengthening resilience and reducing vulnerability to the impacts of climate change while ensuring a just transition to the broad participation of women and girls, both at home and in our commitment to support developing countries.¹

RECOGNIZING THE NEED FOR ACTION IN LINE WITH PREVIOUS G7 COMMITMENTS AND THE 2030 AGENDA, WHICH SETS A GLOBAL FRAMEWORK FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT, WE, THE LEADERS OF THE G7, COMMIT TO:

RESILIENT COASTS AND COASTAL COMMUNITIES

- 1. Support better adaptation planning, emergency preparedness and recovery:** We will work in partnership across multiple sectors to identify and assess policy gaps, vulnerabilities, risks and needs, and share lessons learned and expertise. We encourage the development of coastal management strategies to help plan and build back better, including through standards, best practices and provisions to rebuild natural and physical infrastructure, as appropriate. Our efforts will

support resilient and quality infrastructure in coasts and coastal communities, particularly in SIDS. This will include advancing the development and deployment of clean and resilient energy systems, including from renewable sources. Where appropriate, we will advocate for and support nature-based solutions, such as the protection and rehabilitation of wetlands, mangrove forests, seagrass beds and coral reefs. To protect coastal communities, we will work to increase the capacity of these communities, particularly in SIDS, to generate and communicate effective early warnings of extreme weather and other geo-hazard related risks. To this end, we support early warning systems, including through efforts such as the Climate Risk and Early Warning Systems initiative, which aims to build the capacity of Least Developed Countries and SIDS. We will develop gender-sensitive planning strategies that integrate economic growth, adaptation, sustainable development, conservation and sustainable use of biodiversity and disaster risk reduction. In ensuring more inclusive, comprehensive approaches, we will support women's equal participation in decision-making for disaster risk reduction and recovery. Looking ahead to a brighter economic future, we will promote income-generating activities in coastal communities, such as sustainable tourism.

2. Support innovative financing for coastal resilience: Mobilize greater support for increasing financial resources available to build coastal resilience, particularly in developing countries, and exploring new and innovative financing with national and international public and private sector partners. To explore these innovative financing approaches and tools, we will build on existing platforms for governments, industry, philanthropists and institutional investors. We will explore broadening disaster risk insurance coverage, including through global and regional facilities, such as the InsuResilience Global Partnership, to extend high quality insurance coverage to vulnerable developing countries and beneficiaries in need and to encourage new types of insurance products for emerging risks. We welcome research, monitoring and gender analysis to increase both the range of insurance products and women's access to financial resources for disaster risk management and recovery.

3. Launch a joint G7 initiative to deploy Earth observation technologies and related applications to scale up capacities for the integrated management of coastal zones: We intend to leverage innovation in the field of Earth observation technologies and related applications and make them broadly available in the poorest and most vulnerable regions of the world in order to support disaster risk prevention, contingency planning, spatial planning, infrastructure and building design, early warning systems and risk transfer mechanisms. We ask the forthcoming G7 Ministerial meetings in Halifax to work to present new actions in this area.

OCEAN KNOWLEDGE: SCIENCE AND DATA

4. Increase the availability and sharing of science and data: Recognizing the value of ocean science, observation and seabed mapping, we will expand global observation and tracking efforts. Through enhanced global monitoring of oceans, and coordinating access to ocean science information, we will significantly improve the availability of data. We encourage the collection, analysis, dissemination and use of gender-sensitive data to bridge gaps in understanding the way women and girls are impacted by risks and catastrophic events, and how they can be engaged in developing and implementing solutions.

SUSTAINABLE OCEANS AND FISHERIES

5. Address IUU fishing and other drivers of overexploitation of fish stocks: We will work globally to build stronger public-private partnerships with key countries and technology providers to deploy innovative platforms and technology to identify vessels that engage in, and those that support, IUU fishing. A key effort will be the implementation of unique vessel identification scheme of the International Maritime Organization for all eligible vessels fishing on the high seas. Further, we will strengthen existing regional fisheries networks and launch new networks in needed areas in partnership with INTERPOL and Regional Fisheries Management Organizations (RFMOs), in accordance with their respective competencies, to share information and best practices, and develop new tools to eliminate IUU fishing. Our partnerships will leverage the agency, leadership and participation of women in developing strategies for marine conservation through inclusive planning and implementation, capacity building and improved access to information for women. We will also work to address the myriad of other challenges facing sustainable fishing, including by: promoting global adoption and implementation of the Food and Agriculture Organization (FAO) Agreement on Port State Measures to Prevent, Deter, and Eliminate IUU Fishing, including through supporting capacity building on effective implementation of the Agreement; promoting coordinated action to address forced labour and other forms of work that violate or abuse human rights in the fishing sector that can also be related to IUU fishing; prohibiting harmful fish subsidies that contribute to overfishing and IUU fishing and collectively addressing this through effective disciplines in the World Trade Organization (WTO); supporting the FAO Voluntary Guidelines for Catch Documentation Schemes; and promoting innovation for fishing gear design and recovery to prevent its loss or abandonment. We will also support the implementation of the Global Record of Fishing Vessels, Refrigerated Transport Vessels, and Supply Vessels by providing our Phase 1 vessel data as soon as possible.

6. Support strategies to effectively protect and manage vulnerable areas of our oceans and resources: We will advance efforts beyond the current 2020 Aichi targets including, the establishment of marine protected areas (MPAs) where appropriate and practicable and contribute towards these objectives, the sustainable management of fisheries and the adoption of marine spatial planning processes. We will further advocate for the creation and implementation of effective and science-based MPAs and area-based conservation measures, in close alignment with relevant international frameworks, including in the high seas. We acknowledge efforts to develop an effective and universal international legally-binding instrument under the UN Convention on the Law of the Sea (UNCLOS) on the conservation and sustainable use of marine biological diversity of areas beyond national jurisdiction in line with resolution UNGA 72/249.

OCEAN PLASTIC WASTE AND MARINE LITTER

7. We recognise the urgency of the threat of ocean plastic waste and marine litter to ecosystems and the lost value of plastics in the waste stream. We commit to building on previous G7 commitments and taking a lifecycle approach to plastics stewardship on land and at sea, moving towards a more resource efficient and sustainable management of plastics. Further, we will promote the harmonization of monitoring methodologies for marine litter and collaboration on research on its impacts, in cooperation, for example with the United Nations Environment Programme (UNEP) to facilitate this work.

We ask Ministers to further elaborate on this work at their meeting in Halifax.

ANNEX: OCEAN PLASTICS CHARTER

Plastics are one of the most revolutionary inventions of the past century and play an important role in our economy and daily lives. However, the current approach to producing, using, managing and disposing of plastics poses a significant threat to the environment, to livelihoods and potentially to human health. It also represents a significant loss of value, resources and energy.

We, the Leaders of Canada, France, Germany, Italy, the United Kingdom, and the European Union, commit to move toward a more resource-efficient and sustainable approach to the management of plastics. We resolve to take a lifecycle approach to plastics stewardship on land and at sea, which aims to avoid unnecessary use of plastics and prevent waste, and to ensure that plastics are designed for recovery, reuse, recycling and end-of-life management to prevent waste through various policy measures. We endeavor to increase the efficient use of resources while strengthening waste diversion systems and infrastructure to collect and process plastic materials and recapture the value of plastics in the economy, thereby reducing greenhouse gas emissions and preventing waste and litter from being released into the environment. We seek to stimulate innovation for sustainable solutions, technologies and alternatives across the lifecycle to enable consumers and businesses to change their behaviour. We will work to mobilize and support collaborative government, industry, academia, citizen and youth-led initiatives. We also recognize the need for action in line with previous G7 commitments and the 2030 Agenda, which sets a global framework for sustainable development.

WE COMMIT TO TAKE ACTION TOWARD A RESOURCE-EFFICIENT LIFECYCLE MANAGEMENT APPROACH TO PLASTICS IN THE ECONOMY BY:

1. Sustainable design, production and after-use markets

- a. Working with industry towards 100% reusable, recyclable, or, where viable alternatives do not exist, recoverable, plastics by 2030.
- b. Taking into account the full environmental impacts of alternatives, significantly reducing the unnecessary use of single-use plastics.
- c. Using green public procurement to reduce waste and support secondary plastics markets and alternatives to plastic.
- d. Working with industry towards increasing recycled content by at least 50% in plastic products where applicable by 2030.
- e. Supporting secondary markets for plastics including using policy measures and developing international incentives, standards or requirements for product stewardship, design and recycled content.
- f. Working with industry towards reducing the use of plastic microbeads in rinse-off cosmetic and personal care consumer products, to the extent possible by 2020, and addressing other sources of microplastics.

2. Collection, management and other systems and infrastructure

- a. Working with industry and other levels of government, to recycle and reuse at least 55% of plastic packaging by 2030 and recover 100% of all plastics by 2040.
- b. Increasing domestic capacity to manage plastics as a resource, prevent their leakage into the marine environment from all sources, and enable their collection, reuse, recycling, recovery and/or environmentally-sound disposal.
- c. Encouraging the application of a whole supply chain approach to plastic production toward greater responsibility and prevent unnecessary loss, including in pre-production plastic pellets.
- d. Accelerating international action and catalyzing investments to address marine litter in global hot spots and vulnerable areas through public-private funding and capacity development for waste and wastewater management infrastructure, innovative solutions and coastal clean-up.
- e. Working with relevant partners, in particular local governments, to advance efforts to reduce marine litter and plastics waste, notably but not exclusively in small island and remote communities, including through raising awareness.

3. Sustainable lifestyles and education

- a. Strengthening measures, such as market-based instruments, to prevent plastics from entering the oceans, and strengthening standards for labelling to enable consumers to make sustainable decisions on plastics, including packaging.
- b. Supporting industry leadership initiatives and fostering knowledge exchange through existing alliances and other mechanisms.
- c. Promoting the leadership role of women and youth as promoters of sustainable consumption and production practices.
- d. Support platforms for information sharing to foster awareness and education efforts on preventing and reducing plastic waste generation, plastics pollution and eliminating marine litter.

4. Research, innovation and new technologies

- a. Assessing current plastics consumption and undertaking prospective analysis on the level of plastic consumption by major sector use, while identifying and encouraging the elimination of unnecessary uses.
- b. Calling on G7 Ministers of Environment at their forthcoming meeting to advance new initiatives, such as a G7 Plastics Innovation Challenge, to promote research and development of new and more sustainable technologies, design or production methods by the private sector and innovators to address plastics waste in the oceans with a focus on all stages of the production and supply chain.
- c. Promoting the research, development and use of technologies to remove plastics and microplastics from waste water and sewage sludge.

- d. Guiding the development and appropriate use of new innovative plastic materials and alternatives to ensure they are not harmful to the environment.
- e. Harmonizing G7 science-based monitoring methodologies.
- f. Collaborating on research on the sources and fate of plastics and their impact on human and marine health.

5. Coastal and shoreline action

- a. Encouraging campaigns on marine litter in G7 countries with youth and relevant partners to raise public awareness, collect data and remove debris from coasts and shorelines globally.
- b. Accelerating implementation of the 2015 G7 Leaders' Action Plan to Combat Marine Litter through the Regional Seas Programs, initiatives led by RFMOs, where appropriate, and targeted investments for clean-up activities that prove to be environmentally sound in global hotspots and priority areas, in particular on Abandoned, Lost or Otherwise Discarded Fishing Gears (ALDFG) and wastes generated and collected by fishery activities.

¹ The United States strongly supports healthy oceans, seas and resilient coastal communities. The United States has announced its intention to withdraw from the Paris Agreement, and reserves on the climate related language in the Blueprint.